

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 肝細胞癌患者における血中 CXCL9 の臨床的意義の検討

[研究責任者] 肝臓内科 医師 釘山有希

[研究の背景]

わが国は世界的に見て肝癌発生の多発地域であり、その原因として肝炎ウイルスの罹患率が高いことが挙げられます。肝癌の治療は日々進歩しておりますが依然として予後が悪い癌の一つです。

肝癌やその他複数の種類の癌では、CXCL9 は癌組織内に免疫細胞を誘導し、癌に対する自己の免疫を活性化する化学療法（免疫チェックポイント阻害薬）の治療効果に関わっていると報告されています。また、肝臓の炎症や線維化にも関与していると報告されています。

当院では、肝癌発生状況の調査を 1999 年から毎年おこなっており、肝癌の情報を様々な形で報告してきました。CXCL9 は肝癌の病状を把握するために大事な情報の一つである可能性が考えられますが、現在の肝癌の患者さんの結果のみでは数が限られ、有用性を明らかにするのが困難です。

[研究の目的]

肝細胞癌患者さんの CXCL9 を測定し、その他の情報と合わせて解析し、日常の肝癌診療に役立てることを目指しています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肝細胞癌の患者さんで、西暦 1999 年 1 月 1 日から西暦 2015 年 12 月 31 日の間に長崎医療センターで初めて肝細胞癌の診断を受けた方

●研究期間：西暦 2023 年 9 月 1 日から西暦 2033 年 8 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：血液（診療または他の研究で使用した検体で保管することに以前同意をいただいたもの）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、画像検査）、臨床病期、予後、肝癌治療内容・効果

●CXCL9 は、院内で測定されます。

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

肝臓内科 釘山 有希

電話番号：0957-52-3121（病院代表）